

# 休まない労働者にどう対応する？ 中小企業の休暇取得促進策

## Index

---

- 1 労働者の休暇取得が滞る理由
  - 2 休暇取得促進の方針を明確化しよう
  - 3 休暇制度の内容を見直そう
-

## 1 労働者の休暇取得が滞る理由

経営者は、労働者が年次有給休暇（以下「年休」）などを取得し、しっかりと心身のコンディションを整えてほしいと考えています。働き方改革が進む昨今は、なおさらのことです。

しかし、こうした経営者の思いとは裏腹に、現場では同僚への遠慮などから休暇取得にためらいを感じる労働者が少なくありません。特に慢性的な人手不足に陥りやすい中小企業では、休暇取得が滞りがちです。

（図表1）【年休取得にためらいを感じる理由】

（単位：％）

ためらいを感じる理由（複数回答）	割合
みんなに迷惑がかかると感じるから	73.3
後で多忙になるから	47.5
職場の雰囲気取得しづらいから	28.2
上司がいい顔をしないから	15.2
昇格や査定に影響があるから	9.3
その他	7.0
無回答	0.9

（出所：厚生労働省「平成29年度『仕事と生活の調和』の実現及び特別な休暇制度の普及促進に関する意識調査」）

2019年4月1日施行の働き方改革関連法により、企業は、年10日以上年休が付与される労働者に対して、5日の年休を基準日から1年以内に取得させなければなりません。経営者は休暇取得をためらう労働者と真剣に向き合う時期となりました。年休に限らず、企業が労働者の休暇取得を促進する上で心掛けたいポイントを考えていきましょう。

## 2 休暇取得促進の方針を明確化しよう

### 1) 休暇は楽しい！

労働者が休暇の取得をためらう最大の理由は、「同僚に迷惑をかけたくない」という配慮です。そこで経営者は、「休暇を使ってリフレッシュすることで休み明けのパフォーマンスが上がり、結果として企業に貢献できる」ことを伝えるようにしましょう。

休暇は楽しいものです。その取得を促す経営者は、明るい態度で労働者に接するようにしましょう。そして、経営者自身も休みを取ることで、労働者が気兼ねなく休暇を取得できる環境を整えることも忘れてはなりません。

かつて、日本人は「休むのは悪いことだ」という感覚を持っていたかもしれませんが。しかし、時代は変わりました。経営者は労働者の休暇取得を促進し、「休みやすい会社」であることを、SNSを通じてアピールしてもらおうくらいがよいのです。

# サンプルレポート

本レポートは、サクセスネットで公開している  
ビジネスレポートの一部を公開したサンプルです。  
サクセスネットサイトにログインした後、全文を  
閲覧することができます。